



ROTARY CLUB OF MITO

THE JOYO BANK, LTD.

2-5-5 MINAMI-MACHI MITO IBARAKI 310-0021 JAPAN

029 (225) 4820 FAX: 029 (225) 4825



雑誌委員会

副委員長 磯崎 寛也

2015年11月10日

## 雑誌委員会 月報 (2015年11月)

ロータリーの友 11月号読後感想

磯崎寛也

思うに、「ロータリーの友」を読むことは、ロータリアンとしての自覚と反省を促すことである。紛争の解決や貧困や疫病の撲滅のために世界を奔走している仲間を身近に感じる時、何かが覚醒する。

まずは、表紙をめくって3頁のラヴァンドラン RI 会長のメッセージを読もう。いきなり25年前の自爆テロの話だ。彼個人の内戦の記憶、そこから平和の理想に話は展開する。ロータリーには紛争予防、解決のエキスパートがいるらしい。彼らはどこでどんな活動をしているのだろうか？5頁にはポリオワクチンを子供の口内に滴下するロータリアンの写真、民族衣装に身を包んだ母の笑顔、そしてロータリーのシンボルマークが、さりげなくその横に。12~15頁に関連記事がある。1988年に WHO や UNICEF と組んで世界ポリオ撲滅推進活動を組織。そして、その30年後、常在国は2カ国になり、世界で99.9%の発症抑制が現実となった。本当に誇りに思う。

来年5月末から開催されるソウル国際大会の記事は22頁。我が国と韓国との複雑な関係の中でこの大会をどう捉えるのか、そこに絶対的平和を願うロータリアンとしての試練があると思う。66頁には2016年にサミットを控えた志摩市の志摩 RC の取材記事がある。真珠の養殖で有名な志摩、人口は5万強、今でもアワビや伊勢エビを穫る海女が1,000人いるとは驚いた。里山里海を大切にするのは、豊かな海の幸に心から感謝しているから。ロータリーに所属しているとサミットも身近に感じる。東日本大震災関連記事は32頁。そして、今回最も考えさせられたエッセイ「なぜ貧しい国はなくなるのか」は73頁。豊かになるためには産業が発展しなくてはならない、しかしそれを考える学者が少ない。それから、皆即効性を求めて、最先端の技術を導入し、政府が安易に資本補助をする。本当は陳腐化した技術で労働集約型からはじめるべきなのに。なるほど。

話は変わって、ロータリーの公式ロゴが2013年に変わっていたことを皆さんは知っていましたか？調べてみると、ヴィジュアルアイデンティティの細かいルールがたくさんある(35頁)2017-18年度のRI会長は、オーストラリア人のイアン H.S.ライズリー氏に決まったようです(37頁)11月はロータリー財団月間、どうして11月になったのかを財団の管理委員長が書いてます(38頁)。

最後に、私も含めて MY ROTARY の登録を皆さん急ぎましょう。50%の登録が無いと、RI 会長賞の対象外となりますよ(30頁)。